

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し て い ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

ふくだかいづか

## 福田貝塚

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



場所

くらしきし ふくだちやうふくだ  
・倉敷市福田町福田



時代

じやうもんじだい  
・縄文時代



指定年月日

しやうわ  
・昭和40(1965)年  
3月25日



所有

くらしきし  
・倉敷市



し せき

### この史跡について

じやうもんじだい くらしきし がいち かいがん  
縄文時代には現在の倉敷市街地のほとんどは海でした。当時の人々は海岸の近くの山のふもとに住み、狩りや漁、木の実などの採集により、食糧をとってきて生活していました。

す かいから ほね どき せつき す  
住まいの近くには、貝殻や動物の骨などの食べかすや、土器・石器などが捨てられた場所が残されます。こうした場所を貝塚と呼んでいます。

くらしきし ない じやうもんじだい かいづか ふくだまちふくだ こじやういけいていほうにしがわ  
倉敷市内には、縄文時代の貝塚が多く知られています。福田町福田の古城池堤防西側にある福田貝塚もそのひとつです。

じやうもんじだいこうき かいづか だいにじたいせんこま  
これは縄文時代後期を中心とする貝塚であったことがわかっています。第二次大戦後間もなく行われた調査では、特異な文様を持つ土、土器や石器、土偶、埋葬された人骨など、当時の生活の様子をしのばせる豊富な資料が発掘されています。

